

わ

く

わ

く

4月号

本

だ

な



えほん
1年生～



『だんご屋政談』 春風亭一之輔／作

石井聖岳／絵 ばばけんいち／編 あかね書房
きんぼうは、だんご屋にいたずらし、おぶぎょうさまのおさばきをうけます。子どもだからとゆるされますが、島ながしになってとおくへいきたいきんぼうはなっとくがいきません。らくごのおはなしです。

K933 『おしろのばん人とガレスピー』

ベンジャミン・エルキン／ぶん

ジェームズ・ドーハーティ／え 小宮由／やく 大日本図書

せかいいち目がいい三きょうだいが、おしろのばん人になりました。王さまは、三人をだませたものにはほうびをだすと言います。みんなしっばいにおわりましたが、ガレスピーは、ばん人たちをだますほうほうをおもいつきます。

ものがたり
1・2年生



K913 『ぼくのつばめ絵日記』

深山さくら／作 宮尾和孝／絵 フレーベル館

新しい町に引っこした雄太は、わたってきたばかりのつばめに会います。雄太はつばめに興味をもち、見たことや調べたことを絵日記に書き始めました。自分の家にもつばめをよびたいと考え、友達と巣作りに挑戦します。

物語
3・4年生

K913 『とうちゃんとユーレイババちゃん』

藤澤ともち／作 佐藤真紀子／絵 講談社

優也の家族は、お母さん、とうちゃん、ユーレイのババちゃん。とうちゃんは父親ではなく、「透也」という名前のおじさんです。亡くなった祖母のババちゃんは、いつも家のなかにいるのに、なぜか優也以外には見えません。

物語
5・6年生





えほん(1年生～)

『あめ』
イブ・スパング・オルセン／さく ひだにれいこ
／やく 亜紀書房



物語(5年生～)

『魔法の学校
エンデのメルヒェン集』
ミヒャエル・エンデ／作 池内紀／訳
佐々木田鶴子／訳 岩波書店



『フローレンス・ナイチンゲール』

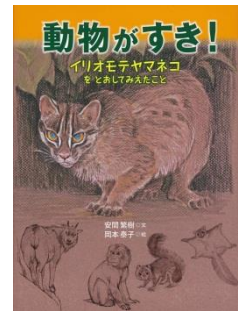
デミ／作 さくまゆみこ／訳 光村教育出版
病院のナースコールは、約150年前に考えられました。
このしくみを作り、病院の環境をよくする活動をつづけたのは、フローレンス・ナイチンゲールという看護師です。
ナイチンゲールはどんな人だったのでしょうか。

えほん
(2年生～)

『動物がすき！イリオモテヤマネコをとおして』

みえたこと』安間繁樹／文 岡本泰子／絵 福音館書店
ほ乳類を研究する安間さんは、イリオモテヤマネコを調査するために西表島に移り住みます。島のヤマネコを観察するうち、大陸のヤマネコに近いことがわかりました。その理由や、研究のおもしろさを安間さんが教えてくれます。

えほん
(4年生～)



K933 『ぼくとベルさん 友だちは発明王』

フィリップ・ロイ／著 榎田理絵／訳 PHP 研究所
エディは、文字の読み書きが上手にできません。そのことで、家族にまで頭が悪いとあきれられてしまい、いつもくやしい思いをしていました。しかし、発明王のベルさんは、エディがかしこい子だと信じてくれたのです。

物語
3・4年生

K289 『iPS細胞を発見！山中伸弥物語』

折れない心で希望をつなぐ！』上坂和美／著 PHP 研究所
iPS細胞は、いまの医学では治せない患者さんを助けることになるだろうと世界中から注目され、発見者の山中伸弥さんはノーベル賞を受賞しました。しかし、発見までの道のりは険しく、心が折れそうなきもあったのです。

ちしきの本
5・6年生

